

第35号

2006年3月

発行元：社団法人 家畜改良事業団 家畜バイテクセンター
URL：http://liaj.lin.go.jp/(http://liaj.or.jp/ivf/)

CONTENTS

- NEWS 新規メニュー生産開始 他
~ 平成17年度の体外受精卵の利用動向
NEWS 第4回 大阪体外受精卵産子枝肉研究会



News

新規メニュー生産開始

家畜バイテクセンターでは本年2月より昨年新規種雄牛として選抜された「茂勝栄（略号P黒493）[父：平茂勝、母の父：安栄]」の体外受精卵の生産・配布を開始しました。新鮮卵・凍結卵ともにご利用下さい。



News

畜産新技術活用開発活用促進事業の実証展示事業が終了します

畜産新技術開発活用促進事業(性別別体外受精卵等の利用体制の確立)において、平成16年度から実施してまいりました移植協力金を交付する実証展示事業が平成17年度を以て終了することとなりました。これまで本事業にご協力頂きました各団体に対しお礼申し上げます。なお、平成18年度以降も引き続き性別別体外受精卵の配布は継続していきますので、今後ともご利用の程、お願いいたします。

News

携帯サイトを開設しました

家畜バイテクセンターでは携帯電話用ホームページサイトを開設しました。携帯サイトでは新鮮体外受精卵の発送予定や体外受精卵産子の家畜市場での販売予定などを掲載しています。パソコンがなくても移植現場ですぐにチェックできます。ぜひ、一度ご覧下さい。

アドレスは <http://liaj.or.jp/ivf/m/> です。
DoCoMo、vodafone、auから
接続が可能です。



News

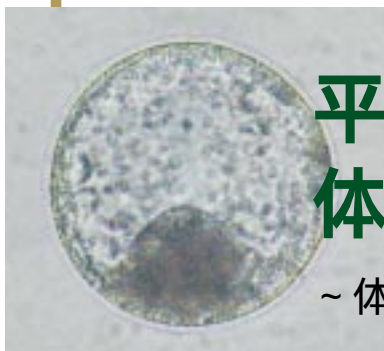
第8回 東京体外受精卵産子枝肉共励会開催日程決まる

毎年、夏の恒例となっている第8回東京体外受精卵産子枝肉共励会の開催日程が決定しました。開催概要は下記のとおりとなっています。なお、詳細は随時、家畜バイテクセンターのホームページでご紹介します。

	記	
開催日程	搬入日	平成18年7月12日(水)
	と畜日	平成18年7月13日(木)
	販売日	平成18年7月14日(金)
出品頭数	55頭(予定)	
主催	財団法人 興農会	
協賛	東京食肉市場株式会社 社団法人 家畜改良事業団	

平成17年度の 体外受精卵の利用動向

～体外受精卵にとって、平成17年度はこんな年でした～



平成17年度は、昨年度にもまして体外受精卵の利用が進んだ年となりました。体外受精卵を生産する家畜バイテクセンターの職員にとっても、これまでで最も多くの受精卵の生産に精出した年となり、時計とにらみ合いをしながら新鮮卵の発送準備を行い、希望の性が多いことを祈りながら性判別を行い、次々に連絡いただく注文に滞りなく対応するよう努力を重ねた1年間でした。まずは紙面を借りて、厚くお礼申し上げます。

今号では17年度を振り返り、体外受精卵の利用動向、あるいは産子の販売状況等をご紹介します。

16%を占めています。残り5%は、受託生産のために生産配布個数が少ないですが、黒毛和種登記可能体外受精卵と乳用種性判別体外受精卵です。

この中で、黒毛和種性判別体外受精卵が昨年度に比べて40%も増えています。

後に述べますが、家畜市場での子牛販売を有利に行うために、雌子牛より高価で販売できる雄子牛を生産しようとする考え方が一層進んだ結果なのだと考えられます。

体外受精卵の利用動向

今年度は、従来の「種雄牛のみ判明」の黒毛和種体外受精卵を中心に、大別して4種類の体外受精卵の生産配布を行なってきました。

平成18年3月20日現在で、配布個数が14,000個を突破し、昨年度同期の130%という個数となりました(図1)。その中で、およそ79%を占めるのが種雄牛のみ判明の黒毛和種体外受精卵です。次いで、昨年度から生産配布を開始した黒毛和種性判別体外受精卵が全体の

移植

平成17年度の特徴のひとつに、新鮮卵移植の増加があげられます。これまで、凍結卵と新鮮卵の利用の比率はおおよそ5:5と同じ程度の割合でしたが、今年度はその様相が変わり4:6と新鮮卵移植が多くなりました。



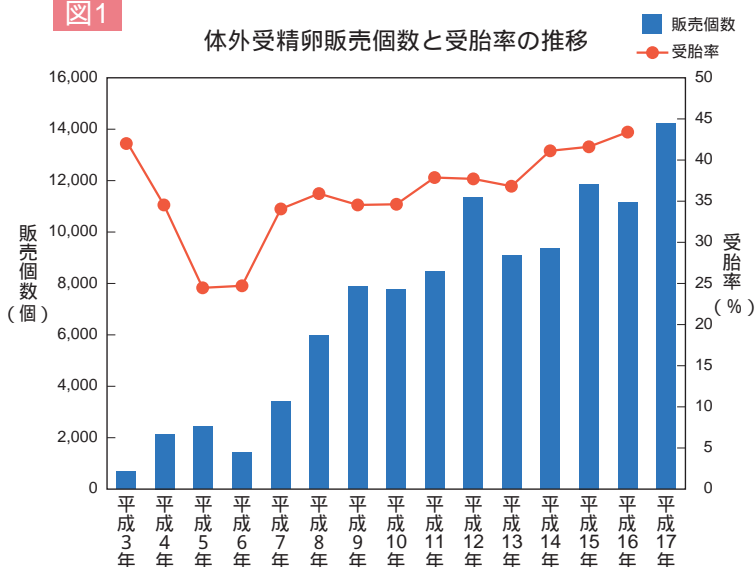
また、移植のパターンも、自然発情の牛を利用して移植する地域と、発情同期化により受卵牛を準備して集約的な移植を定期的に行なう地域に分かれてきています。

生産者が、体外受精卵を各自の経営の中でどのように利用していくかという方向性が明確に示されてきていると感じられます。確実に受胎させることを重視し、受卵牛を選び、移植適期に的確に移植を行なうケースや、家畜市場へ子牛を出荷して有利な販売を目的として一定時期出荷頭数を揃えるような移植を行なうケース等です。

また、受胎率も年々上昇してきています。近頃、受胎率が良くなったという声がよく聞かれるようになりました(図1)。

図1

体外受精卵販売個数と受胎率の推移



家畜市場動向

体外受精卵産子の販売の特徴は、なんととってもスモール販売です。

平成16年度は、体外受精卵産子の取り扱い頭数が多い5箇所の家畜市場（本宮家畜市場・前橋家畜市場・豊橋家畜市場・岡山県総合家畜市場・熊本県家畜市場）の販売頭数が1,287頭であったのに対し、今年度は1,581頭と販売頭数は約22%増加しています。販売価格をみても、昨年度より平均26,711円高となり、堅調な販売が進められています。

県域を越えて体外受精卵産子が集まり販売される中心的な市場が東北、関東、中部、中四国、九州の各地域に形成され、着実に実績を残している状況が見られます。

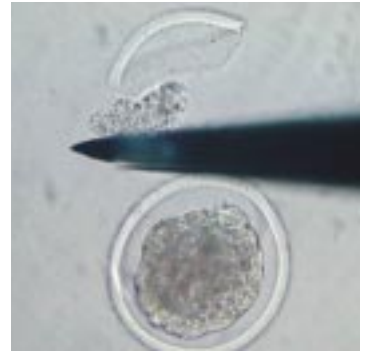
平成17年11月に香川県家畜市場でも体外受精卵産子の販売が開始されました（卵通信34号参照）し、北海道でもヌレ子や初妊での販売が有効な方法として利用され始めているのが、平成17年度の特徴的な動向です。



性別別体外受精卵

平成16年度から黒毛和種性別別体外受精卵の配布を開始し、本年度も継続的な供給を続け、生産者へ着実に浸透したと言えます。

その背景には、家畜市場での子牛販売で雌に比べて雄が高い価格で取引されているという現実があります。



下の図2～5には、体外受精卵スモール産子の取引が行われる家畜市場の中から定期的に出荷されている4箇所の家畜市場の平成16年度と17年度の月別出荷頭数と平均価格の推移をグラフに示しました。ここからお分かり頂けるように、出荷頭数が増加傾向にありますし、販売価格も高い価格帯で推移している傾向にあります。安定した出荷頭数が望めれば、安定した価格帯での子牛取引が期待できそうです。

凡例
 ■ 16年度 平均価格 ■ 16年度 出荷頭数
 ■ 17年度 平均価格 ■ 17年度 出荷頭数

図2

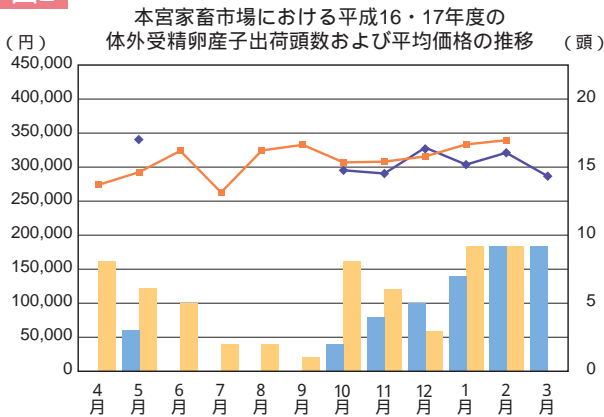


図4

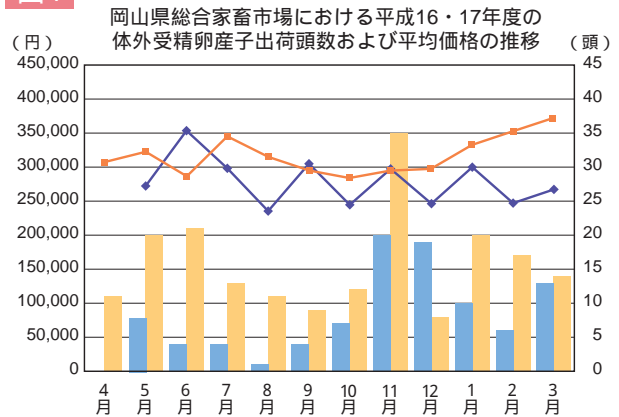


図3

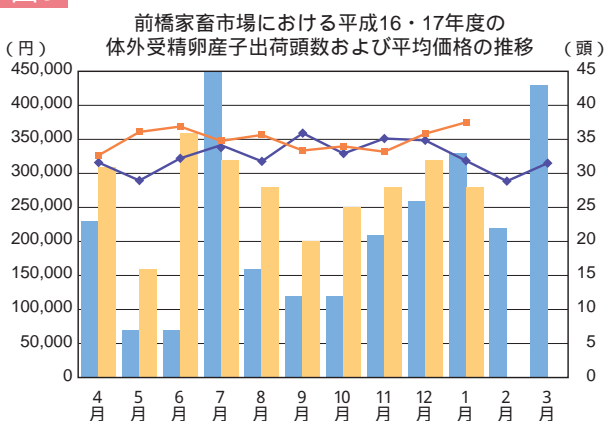
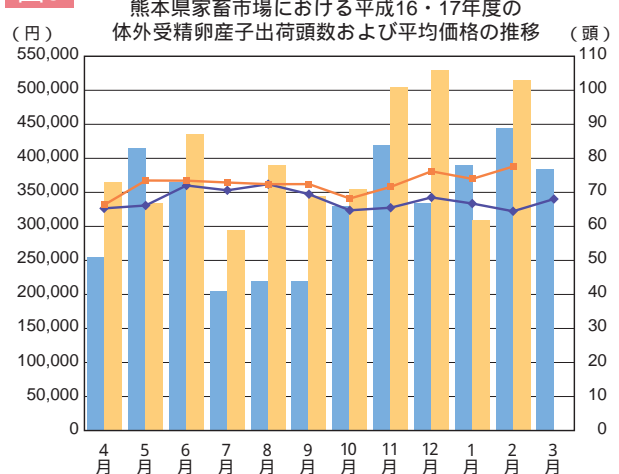


図5





第35号

2006年3月

発行元 社団法人 家畜改良事業団 家畜バイオテクセンター
〒140-0002 東京都品川区東品川3-21-10 ヤダビル3F
TEL 03-3740-2709 FAX 03-3740-2719



News 第4回 大阪体外受精卵産子枝肉研究会開催(上物率71%)

熊本県経済連の原田幸雄さんが金賞を受賞!

金賞
原田幸雄さん
(熊本県菊池市)



種雄牛 安福165の9
性別 去勢
月齢 29
格付 A5
枝肉重量 471kg
ロース芯面積 69cm²
BMS No. 10
枝肉単価 2,718円
枝肉金額 1,280,178円

3月1～3日、第4回大阪体外受精卵産子枝肉研究会が大阪市中央卸売市場南港市場で開催されました。(主催：財団法人興農会、協賛：大阪市食肉市場株式会社、社団法人家畜改良事業団)

金賞は、熊本県経済連・原田幸雄さん出品による「安福165の9」の産子が受賞し、枝肉単価は2,718円でした。

過去の研究会・共励会では、出品牛のほとんどが「安福165の9」の産子でしたが、今回はそれに加え「福栄」「美津照」「第6栄」「美津福」「北仁」「北国7の8」と7種類もの種雄牛の産子が出品され、初上場の「美津照」の産子が2頭入賞しました。

褒賞授与式において、主催者である財団法人興農会の海老澤理事長は「7種類の種雄牛の体外受精卵産子が出品されたのは初めて。特に、今回初の上場の「美津照」産子が2頭も入賞したのは皆様のご尽力のおかげである。今回の平均単価は二千元を超え、まずまずの成績であった。今後とも同様のご協力を賜りたい」と話され、多様な種雄牛の体外受精卵産子肥育を評価されました。

なお、詳細なデータは当センターホームページ (<http://liaj.or.jp/ivf/>) に掲載しております。



編集後記

1面にも掲載しましたが、移植協力金が交付される助成事業が終了します。事業名称が何度か変わりましたが、延べ15年に渡りご活用頂いたことになりました。今後は助成なしにユーザの皆さんには体外受精卵をお使い頂くこととなりますが、安定した受胎率、子牛の販売成績、枝肉成績等好材料が増えてきていることから、生産者の皆さんの経営の一端を担えるようになってきたのではないかと感じています。今後とも家畜改良事業団の体外受精卵をご指定下さい。

種雄牛別成績

種雄牛名	性別	頭数	月齢	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	ばらの厚さ(cm)	BMS No.	枝肉単価(円)	枝肉金額(円)
安福165の9	去勢	20	28.6	477.8	59.9	7.8	6.6	2,090	998,647
	牝	7	30.8	440.9	57.9	7.7	5.1	1,935	853,799
	計	27	29.1	468.3	59.3	7.8	6.2	2,050	961,093
美津照	去勢	8	28.3	459.1	52.6	7.2	6.0	2,074	955,833
	牝	5	28.3	423.3	56.0	7.5	6.4	2,161	919,976
	計	13	28.3	445.3	53.9	7.3	6.2	2,107	942,042
福栄	去勢	5	28.1	449.5	54.8	7.2	6.4	2,053	932,600
	牝	3	28.8	436.6	56.0	7.2	5.3	2,073	901,323
	計	8	28.3	444.7	55.3	7.2	6.0	2,061	920,871
北国7の8	去勢	1	28.3	503.2	64.0	7.5	8.0	2,499	1,257,496
	牝	1	31.3	466.8	50.0	8.7	3.0	1,758	820,634
	計	2	29.8	485.0	57.0	8.1	5.5	2,129	1,039,065
北仁	去勢	2	29.5	385.5	47.5	6.4	3.5	1,722	664,527
	牝	2	29.5	385.5	47.5	6.4	3.5	1,722	664,527
	計	4	29.5	385.5	47.5	6.4	3.5	1,722	664,527
美津福	去勢	1	29.5	647.6	62.0	9.0	5.0	2,014	1,304,266
	牝	1	30.5	372.4	40.0	7.0	4.0	1,913	712,401
	計	2	30.0	510.0	51.0	8.0	4.5	1,964	1,008,334
第6栄	去勢	1	27.5	538.8	61.0	9.8	7.0	2,052	1,105,617
	牝	1	27.5	538.8	61.0	9.8	7.0	2,052	1,105,617
	計	2	27.5	538.8	61.0	9.8	7.0	2,052	1,105,617
全体	去勢	36	28.4	476.8	57.8	7.7	6.4	2,090	998,610
	牝	19	29.7	427.5	54.6	7.4	5.2	1,983	849,607
	計	55	28.9	459.8	56.7	7.6	6.0	2,053	947,136